

平成 30 年度（一社）千葉県代協第 1 回理事会議事録

日時 平成 30 年 7 月 13 日(金) 13:30～17:00
場所 長沼原勤労市民プラザ 視聴覚室

<出席理事>31 名（内出席者 24 名）（敬称略）

小口泰伸、伊藤綱人、東正己、積田淳、今西英人、筒井隆行、大下整二、中臺勝美、須佐弘男、佐藤隆二、福原鋭司、四方裕伸、萱野一、本吉淳、石井孝幸、安藤康子、五木田厚、田原豊、伊野雅至、石橋陽二郎、矢部元茂、清水武史、北田耕一、石井清

<欠席理事>（敬称略）7 名

辰野方哉、宅間稔、秋元浩鈴、鈴木政敏、池辺晃司、久保田洋之、市原貴

<出席監事>

栗田秀美 小倉滋彦

司 会：今西専務理事、議 長：小口会長

議事録作成人：宮澤事務局長 議事録署名人：栗田監事、小口会長

<議事>

定足数の確認

今西専務理事が出席理事数の確認を行い、本理事会が有効に成立していることを報告した。

1. 会長挨拶

小口会長から、先日の「すだて遊び」を主催した木更津支部及び総務委員会に対し謝辞が述べられ、来年度のレクリエーションについても素晴らしい行事が開催できるよう努力したいとの挨拶があった後、会長就任に当たって次の挨拶があった。

（挨拶概要）

代協の目的は、損害保険の健全かつ公正な募集と保険契約者の利益を守るため損害 保険代理店の資質を高め、地位の向上を図り、損害保険事業の健全な発展に寄与するとともに併せて地域社会に貢献することです。 損害保険代理業は、損害保険事業の発展を通じ、社会の安全を守り、福祉の向上に貢献する公益性の高い職業です。また、平成 28 年 5 月に実施された改正保険業法により、より一層の顧客能力の向上及び代理店経営の高度化が求められています。

我々は、これらの社会的要請に応えるために、常に自己研鑽に努めなければならなりません。私は、千葉代協会員の目的の実現を千葉代協会員が社会的要請に応えることができるように力を尽くし、千葉代協の発展に寄与していきます。

そのためには、役員・理事をはじめ、一般会員を含めた全員の協力が不可欠です。

また、我々の組織は他の誰かが道筋をつけてくるような団体ではないので、代協活動に主体的・積極的に参加していただきたい。

そのためには、参加しやすい、参加したいと思えるような代協組織を作り上げることが、私の最大の責務だと考え、これからの代協運営を行っていきたいと思っていますので、皆様のご協力をお願いしたい。

2. 報告事項

(1) 日本代協報告

① 小口会長から6月14日に開催された日本代協通常総会の報告があった。

(報告概要)

次の3項目について、いずれも承認された。なお、理事承認後招集された理事会で、千葉代協広報委員長筒井隆行氏の機関紙誌編集委員就任が承認された。

- ・2017年度事業報告承認の件
- ・2017年度決算報告承認の件
- ・役員改選について

② 伊藤日本代協CSR委員から6月29日開催の日本代協CSR委員会の次の報告があった。

- ・3大キャンペーン(無保険車追放、自動車盗難、地震保険普及)を中心に行う。
- ・ぼうさい探検隊募集に関して市原方式を全国にPRした。
- ・グリーン基金の公募要件の見直しについては、継続検討する。

(2) 委員会報告

筒井広報委員長、今西総務委員長、伊藤CSR委員長、大下企画環境委員長、東組織委員長、積田教育委員長から、次の報告があった。

委員会名	報告内容
広報委員会	7月10日に広報委員会を開催し、次を決定した。 1. 副委員長に川名氏(安房)、山田氏(千葉)を選出。 2. 広報誌(千葉代協だより)の発行を最重要課題とする。年2回発行(9月、3月) (1) 9月発行の千葉代協だよりについて <ul style="list-style-type: none"> ・wordを使用し作成する。 ・掲載内容(千葉代協新体制のご紹介、新支部長挨拶、木更津すだて遊び)A4判1頁 ・新支部長挨拶については、100文字程度で8月15日までに提出していただく予定 ・9月6日開催の広報委員会で編集完成。 ・配布方法は検討する。
総務委員会	7月10日開催の総務委員会について、次の報告があった。 1. 支部活動費について

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年 3 月 31 日現在の正会員数、有料一般会員、賛助会員、オートグラス会の分配金に基づいた支部活動費の一覧表を作成した。(資料として配布) ・この金額に基づき、来週支部に振り込む予定である。 ・1 2 月頃消費率の報告を願う。 <p>2. セミナー講師源泉税について 会計注意事項として、セミナー講師謝礼時の源泉税について確認した。 など</p>
CSR 委員会	<p>7 月 6 日開催の CSR 委員会について、次の報告があった。</p> <p>1. 今年度の千葉代協の CSR 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様の活動を行う。地震保険普及キャンペーンについては、東葛、北総、茂原の 3 支部が担当する。 ・昨年度ぼうさい探検隊応募団体が無かった支部を含め全支部から応募が出るように活動願いたい。 ・9 月 26 日に第 2 回委員会をよつば総合法律事務所で行い、その後 JR 千葉駅周辺で午後 5 時 15 分頃から無保険車追放キャンペーンを行うので、参加願いたい。
企画環境委員会	7 月 27 日に平成 30 年度第 1 回委員会を行う。
組織委員会	7 月 27 日に平成 30 年度第 1 回委員会を行う。
教育委員会	7 月 30 日に平成 30 年度第 1 回委員会を行う。

(3) 支部報告

矢部銚子支部から 7 月 27 日にバーベキュー大会を開催するとの追加報告があった。

(4) 事務局報告

宮澤事務局長より 6 月 27 日に開催された平成 30 年度第 1 回東関東ブロック協議会について次の報告があった。

- ・千葉代協がもう 1 期 (2 年) 事務局を担当する。
- ・担当理事が横山理事から小俣理事に変更になった。
- ・ブロックセミナーを 11 月 16 日に水戸で行う。(内容は次回決定)

3. 前回議事録 (平成 29 年度第 4 回理事会) 承認の件

平成 30 年 4 月 17 日の開催された平成 29 年度第 4 回理事会議事録について、異議なく承認された。

4. 理事オリエンテーション

新体制の第 1 回目の理事会に当り、中台東関東ブロック協議会長より、次の項目の基本的な事項についての説明があった。

- (1) 代協の理念 (目的)
- (2) 組織について (日本代協の組織、政連、国民年金基金、千葉代協など)
- (3) 諸会議 (日本代協、東関東ブロック、千葉代協)
- (4) 役割 (通常総会、理事会、理事、三役会、委員会、委員、支部、支部長など)

5. 協議事項

(1) 平成 30 年度県代協の事業計画の取り組み方法について

①平成 30 年度第 1 回支部長・三役会議報告

6 月 8 日に行われた支部長・三役会会議で本日の理事会に提案する「平成 30 年度県代協事業計画の最重要課題である会員増強の基本方針及び会員増強の具体策」が配付の議事録（別紙参照）により確認された。

②会員増強の取り組み策について

会員増強を最重要課題とするベースの考え方

小口会長から会員増強を平成 30 年度の最重要課題とするベースの考え方について、次の説明があった。

「現在千葉代協は、組織率（千葉代協正会員数÷千葉県全専業代理店数）は 29.2%(H30/3/31 現在)と全国 46 位である。金融庁や保険会社に物申すためには、少なくとも 50%以上の組織率とする必要がある。また、全国的に見ると 50%以上の組織率を達成している代協は少なからずあり、達成は可能である。従って、千葉代協は 4 年後の組織率 50%を目標として目指すこととしたい。

そのためには、どうすればいいか、どのような方策があるか組織委員会を中心にして 1 つの方策だけではなく、いろんな方策を試行錯誤しながら皆さんと一緒に考えていきたい。

さらに活性化については、皆さんが喜んで参加したくなる行事・内容を考えていきたい。そのためには、支部や委員会間の密接な連絡が必要になる。

この 50%の目標はいつぺんには達成できないので、少しずつやっていきたい。

まず今年度の会員増強目標の純増 14 店を必ず達成したいので、皆さんのご協力をお願いしたい。」

本年度の会員増強の具体策

また、東組織委員長から本年度の具体的方策について、次の説明があった。

「4 年後の組織率 50%は、簡単な目標ではないが、頑張りたい。今年度は、昨年までのミニ賠償説明会（保険会社の業務連絡会に参加）について損保ジャパン日本興亜、東京海上日動への参加の実績はあるが、結果に結びついていない。そこで、今年度はミニ賠償説明会での説明はさわりだけにして、我々が主催する「代理店賠償説明会」への参加を誘導したい。

また、ミニ賠償説明会終了後のフォローのための名刺回収がなかなか困難なので、アンケート用紙に QR コードを刷り込んで、そこからホームページへアクセスして登録してもらうなどのフォロー方法を検討したい。」

理事の意見

理事全員に会員増強の方策及び代協活動の活性化について意見を聞くとともに意見交換を行った。この意見及び意見交換を参考に組織委員会で検討してもらうこととした。

(理事の主な意見)

- ・1年間で、1会員が1名紹介（入会）する運動を行ってはどうか。
- ・ゆうれい部員を代協活動に参加してもらうように代協活動を活性化させる必要がある。代協活動に参加すればその会員が未加入会員を連れてくるなどの相乗効果がある。
- ・組織率が50%を超えている代協の成功事例を参考にしようか。

(組織率の高い代協の取り組み例)

福岡代協などの取り組み事例が紹介された。

組織率の高い代協は、まず代協活動に対する気持ちが熱い（本気で会員増強などに取り組んでいる）上に、代協活動活性化についての具体的かつ有効な仕組みづくりを実施している。福岡代協は月1回支部内の交流会を開催して、横のつながりを持っているなど。

- ・代理店や客先のためになる中小企業主を講師とするなどのセミナーを開催したらどうか。
- ・3～4年前に組織委員会で、未加入代理店リストを作成したので、それを活用して声掛けをしてはどうか。
- ・とにかくやる気を出して、アクションを起こしていこう。
- ・日本代協のコンベンションに多くの会員に参加してもらい、代協のすごさを感じて欲しい。
- ・代協活動の活性化については、マメに声掛けをして活動に参加してもらう。
- ・特に一般会員などの若手に代協活動に参加してもらい、知り合いの若手に入会を促すなど代協の若手を増やして活性化していく必要がある。。
等々

6. その他

(1) 西日本豪雨被害者に関する義援金について

今回の西日本豪雨に関して、CSR 委員会を中心にして募金活動を行い、日本代協あるいは日本赤十字社を通じて、義援金として寄付していくことが承認された。

以上

平成 30 年 7 月 13 日

会長(代表理事)

監事

小 口 泰 伸

印

栗 田 秀 美

印

(次回理事会) H30 年 10 月 12 日(金) 午後 1 時 00 分～ 於長沼原勤労市民プラザ
(開始時間を従来の午後 1 時 30 分から 30 分繰り上げ、午後 1 時に変更)